

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0903010

政策目標	1	はつらつ・雄武	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	平成24年度ほたて稚貝増産放流事業資金貸付事業					
事業期間	平成24年度					
事業主体	町					
事業指標	ほたて稚貝増産放流数					
事業目標	60,000千粒					
住民参加	2		見直し年度			
住民協働			担当課	9	産業振興課	
			関係課	#N/A		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	⇒		
			関係個別計画名			

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	◎事業内容 平成24年度に雄武漁業協同組合が行うほたて稚貝において、雄武沖に増加放流を行う事業資金の貸付を行い、ほたて漁業事業運営の安定化を図る。 貸付額 200,000千円 貸付内容 貸付期間 3年間(一括償還) 無利息					稚貝放流資金貸付
	事業費(千円)	200,000	0	0	0	200,000
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	200,000				200,000
実績事業費	事業費(千円)	200,000	0	0	0	200,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	200,000				200,000
関連事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
						稚貝放流資金貸付 雄武沖B海域 60,000千粒
						※前年度評価結果
第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値					60,000千粒
	年度達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	100%
	事業進捗状況					☆☆☆☆

事業名	平成24年度ほたて稚貝増産放流事業資金貸付事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	ほたて稚貝放流数								
【抱える課題やニーズは】	ほたて漁業における稚貝放流事業資金の円滑化及び経営基盤の早期安定	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ほたて漁業の早期増産体制を確立させる(平成26年度以降のほたて生産量を18,000トンとする)	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>60,000,000粒</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>60,000,000粒</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	60,000,000粒	実績値	60,000,000粒	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	60,000,000粒										
実績値	60,000,000粒										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	漁家所得の向上と地域経済の活性化を図る。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ほたて稚貝の増産放流事業資金の貸付	漁場再編に伴い雄武沖B海域のうち1,100haが稚貝未放流海域となっていることから漁場の有効活用を図り早期増産体制を確立するため、増産放流を行うための事業資金を貸付した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ほたて漁業の振興は、漁業者のみならず水産加工業者など地域経済に影響のあるものであり、本町の水産業を推進させるために必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	増産放流により一時的に増加する事業資金の円滑化が図られ、計画通り達成できた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	増産放流するための資金を貸し付ける事業であることから、コスト削減はできないが、3年後の事業精算時(漁獲時)には一括償還されることになっている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

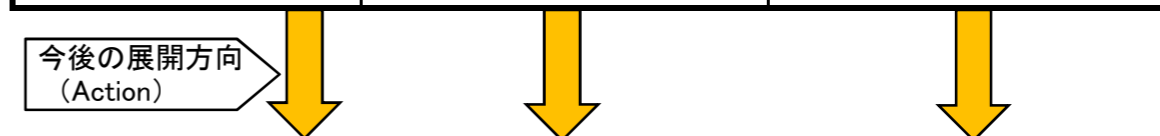
公平	判断の理由	事業主体においては本事業による未放流漁場への増加放流のほか、早期増産体制を確立するため、通常の当年度放流漁場においても自己資金により40,000千粒の増加放流を行っている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
未放流海域となっている漁場を有効活用することで早期増産体制の確立が期待できる。		



終了		
所期の目的が達成された。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止